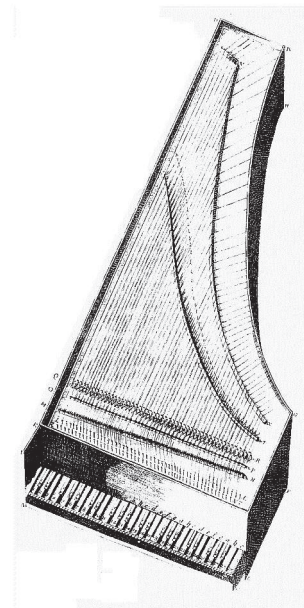


# リコーダーとチェンバロによる イタリア後期バロックソナタ

リコーダー  
本村睦幸

チェンバロ  
福間彩



- G. サンマルティーニ:  
ソナタ 変ロ長調 (Sibley No. 21)
- F. サルティ:  
リコーダーソナタト短調 (ハラッハ・コレクションより)
- F. ジェミニアーニ:  
チェンバロ作品集より ニ長調の作品
- F. ヴェラチャーニ:  
リコーダーソナタ 第3番 ニ短調

休憩なし60分のトークコンサート  
同プログラム3回公演

2016年2月26日[金]

Space 415

中野区新井2-48-12  
<http://space415.info/>

JR中央線／東京メトロ東西線  
中野駅北口より徒歩12分

野方警察署近く、区立野方児童館の隣  
「芦野」の表札がある入口をいってすぐ右の建物の2階

昼 13:30 開演 (13:00 開場)  
夕 16:00 開演 (15:00 開場)  
夜 19:40 開演 (18:30 開場)

全自由席 ¥3,000 要予約

■ご予約・お問い合わせ  
デ・ルストホフ: [lusthof.concerts@gmail.com](mailto:lusthof.concerts@gmail.com)  
あしの: 090-6045-9311

<http://mutsuyukimotomura.com/>

小さな室内楽第 14 回は、前回に引き続き、中野の Space 415 でトークを含め、休憩なし 60 分のプログラムで、1 日 3 公演行います。より一層リラックスした雰囲気でお楽しみいただけるかと思えます。

今回は、チェンバロの福間彩さんをゲストにお迎えして、イタリア後期バロックのソナタをお聴きください。サンマルティーニはミラノに生まれてロンドンで活躍した人ですが、イタリアやザクセンの写本にも多数の曲が残されています。サルティのソナタは、ナポリ副王だったハラッハ伯爵の手稿譜コレクションにあるものです。ヴェラチーニもジェミニアーニも当時を代表するヴァイオリニストですが、ヴェラチーニのリコーダーソナタも重要レパートリーです。また、ジェミニアーニのチェンバロ作品もなかなか聴く機会の少ない興味深いものです。どうぞお楽しみに。



**本村睦幸 Mutsuyuki Motomura (リコーダー)**

アムステルダム音楽院卒。W.ファン・ハウエらに師事。アムステルダムを拠点とする十余年に渡る活動を経て、2001年に帰国。リコーダー音楽が花開いたルネサンス・バロック時代の室内楽の楽しみを現代に活かすことを夢見て、愛好家の方々にとっての聴く喜び、奏でる喜びの双方を見据えた活動を展開している。2009年には「東京リコーダー音楽祭 2009」(読売新聞社主催)のディレクターを務めた。現在は、リコーダーに本来的な小さなサロンのあり方を探る〈小さな室内楽〉シリーズを東京での活動のベースにおきながら、リコーダーの様々なレパートリーを網羅的に取り上げる〈本村睦幸リコーダーシリーズ〉や、古楽器に限らない多様な演奏家との共演、現代作品の委嘱なども通してリコーダー音楽の可能性を追求している。CDに「オランダバロックの愉悅」、「バルサンティ:リコーダーソナタ全6曲」、「無伴奏リコーダー600年の旅」があるほか、昨年、CD「テレマン:無伴奏フルートのための12のファンタジア」に加えて、同曲集のアルトリコーダー版を全音楽譜出版より校訂出版している。ホームページは、<http://mutsuyukimotomura.com/>

**福間彩 Aya Fukuma (チェンバロ)**

桐朋学園大学音楽学部古楽器科卒業。同大学研究科修了。アムステルダム音楽院卒業。パリ国立高等音楽院にて室内楽を専攻する。チェンバロを故鍋島元子、渡邊順生、ボブ・ファン・アスペレンの各氏に師事。第19回古楽コンクール〈山梨〉チェンバロ部門最高位受賞。併せて栃木〔蔵の街〕音楽祭賞を受賞。アンサンブル・ディアマンテのメンバーとして、ブルージュ国際古楽コンクール第2位受賞。ファン・ヴァセナールコンクール第3位および聴衆賞受賞。現在は東京を拠点にソリスト及び通奏低音奏者として活動しているほか、国内外の演奏家と共に数多くのコンサートを企画、運営している。アルル音楽教室講師。桐朋学園大学嘱託演奏員。